

長 浜 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開催日時	令和3年6月11日（金） 午後3時～午後4時45分	
開催場所	長浜警察署3階会議室	
出席者	委員	北川清治会長、山崎識副会長、栗原裕子委員、河毛貞子委員 樋口幸永委員、畑下嘉之委員、野坂大介委員、廣部恭子委員 西村圭司委員
	警察	署長、副署長、調査官（警務課長）、調査官（会計課長） 留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長 警備課長
	陪席	滋賀県公安委員会大塚委員長
議事概要	<p>第88回長浜警察署協議会</p> <p>1 委嘱状交付 滋賀県公安委員会大塚委員長より、各委員に委嘱状が交付された。</p> <p>2 役員選出 (1) 委員の互選により北川清治委員が会長に選出された。 (2) 北川会長の指名により山崎識委員が副会長に選出された。</p> <p>3 会長挨拶 新型コロナウイルス感染症に関して長く危機管理状態が続いているが、警察の日々の活動、取組等、警察署の業務そのものも、正に危機管理そのものであり、改めて敬意を表すところです。私たち委員は、長浜警察署の理解者、応援者であり、よりよい長浜警察署にするため市民目線を大切にしたい意見を積極的に述べさせていただく。</p> <p>4 滋賀県公安委員会大塚委員長挨拶 警察署協議会は、住民の声に基づいて業務運営してもらいたい、ということで生まれた背景がある。委員の皆さんには市民目線からの意見を積極的にだし、新体制の下で長浜の安全と安心を一緒に担っていきたい。</p> <p>5 署長挨拶 長浜署は私以下約110名の体制で管内の治安維持に当たっている。犯罪や交通事故は市民の皆様のご協力もあり、減少しているが、特殊詐欺の発生や高齢者が絡む交通事故の発生等、課題は山積である。委員の皆様には私共とは違う目線で</p>	

御提言いただき、私共の業務にしっかりと反映させていくのでよろしくお願ひしたい。

## 6 議事

### (1) 業務報告

副署長挨拶後、各課長から「令和3年度の長浜警察署の取組」について報告があった。

### (2) 意見等

(委員)

子どもが将来なりたい職業の中に警察官が上位であった。子どもに人気のある白バイなどを展示して子どもが触れあう場を設ければいかがと思う。長浜署に白バイはあるのか。

(警察)

白バイは、長浜署にはない。栗東の交通機動隊で運用している。

(委員)

子ども達に警察官という職業が人気であるので白バイ等を効果的に活用して子ども達の将来に夢を与えていただきたい。

(委員)

拾得物の取扱いについて、落とし主が見つからず、拾得者に拾得物が引渡され、それを現金化した場合に集計上は現金として扱われるのか、物として扱われるのか。

(警察)

拾得時の形態により、物として計上している。

(委員)

拾得物の中で現金として計上されているものは、どのような場合があるのか。

(警察)

財布の中に入っていた現金や現金のみで拾得された場合である。

(委員)

落とした人が見つからず、拾得者に拾得物が引渡されるというケースは年間どれ位あるのか。

(警察)

令和2年中は、拾得者に渡した物が件数としては1,756件、金額としては約

172 万円、点数としては 225 点であった。ただし、スマホやパソコン等、個人情報が入っている物は引渡せない。

(委員)

新型コロナウイルス対策として使用するタイベックスーツとはどのような物か。

(警察)

全身を覆い、ウイルス等を体に付着させないようにするスーツである。

(委員)

チラシとして新聞折り込みされる長浜署だよりの配達地域は。

(警察)

現在は旧長浜市内である。

### (3) 次回開催日程

次回開催日は 7 月 14 日（水）午前中で、水難救助訓練の視察と決定した。

## 7 滋賀県公安委員会大塚委員長講評

働き方改革を推進するための取り組みについて説明があったが、業務の省力化・効率化を目指して公安委員会では警察業務への D X の活用を提言している。D X を活用できる警察業務について皆様から意見があれば積極的に挙げていただきたい。